

2017年度 センター試験 本試験 日本史 B

第1問 アジアの中の日本

出題範囲	古代～現代の社会・経済史
難易度	★★★★☆☆
所要時間	8分
傾向と対策	本問は、手紙のやり取りをベースとして、幅広い知識が問われる問題だった。設問ごとに難度の差が大きく、比較的難しい問3・問5が明暗を分けた。問4では、文中の空欄の場所を地図から選ばせる新しい形式が出題され、問5の写真読み取りでは知識をつなぎ合わせて推測する力が問われた。こうした問題に対しては、教科書や資料集などさまざまな教材を利用し、地図や図版にも細心の注意を払う丁寧な学習が求められる。

A

問1 正解は②

難易度 ★★★★★☆

解説

ア ^{ひらど}平戸が入る。「江戸時代初めにオランダやイギリスの商館が置かれた」から判断する。イギリスの商館がある段階では鎖国体制は未成立のため、オランダ商館が長崎の^{でしま}出島に移る1641年より前の話であると考えることが出来る。

イ ^{さんべつしょう}三別抄が入る。三別抄は^{こうらい}高麗の精鋭部隊であり、元軍は三別抄の抵抗に悩まされた。^{あじ}按司は、12世紀に琉球に登場した豪族を指し、この文脈には該当しない。

以上より、ア - 平戸、イ - 三別抄の組み合わせとなる②が正解である。

問2 正解は③

難易度 ★★★★★☆

解説

① 誤 ^{こうちせいしゅうらく}高地性集落は^{やま}弥生時代に築き上げられたものであり、^{りく}防衛機能に優れていた。^{しうでやまいせき}紫雲出山遺跡は、この集落の遺跡の代表である。

② 誤 平安時代、海賊を率いて反乱を起こしたのは、^{ふじわらのすみとも}藤原純友 (?-941) である (藤原純友の乱)。これを平定した人物が ^{みなもとのつねもと}源経基 (?-961) であり、経基は ^{せいわけんじ}清和源氏の祖となった。

③ 正 室町時代は、依然として寺社勢力が強く、^{つりょう}幕府とならんで津料の徴収を行った。

④ 誤 堤を築いて溝を掘り、潮の干満の差を利用して海水を導き入れるこの手法は、^{いりはまほう}入浜法と呼ばれる。

以上より、正解は③である。

問 3 3 正解は①

難易度 ★★★★★☆

解説

X 正 ^{たかむこのげんり}高向玄理 (?-654) ・ ^{みなぶちのしょうあん}南淵請安 ・ ^{みん}旻 (?-653) らは ^{けんずいし}遣隋使に同行した。帰国後、大化の改新の際に高向玄理と旻が国博士に任じられた。

Y 正 17 世紀半ばに、明の僧である ^{いんげんりゆうき}隠元隆琦 (1592-1673) が日本に ^{おうぼくしゅう}黄檗宗を伝えた。

以上より、X- 正、Y- 正の組み合わせとなる①が正解である。

B

問 4 4 正解は①

難易度 ★★☆☆☆

解説

ウ ^{いわみ}石見が入る。地図上では a。16 世紀～17 世紀前半にかけて多量の銀を産出した石見銀山は、2007 年に **世界遺産に登録された**。b は ^{たじまいくのぎんざん}但馬生野銀山で、こちらも主要な銀山であるが、**世界遺産には登録されていない**。

エ **新潟**が入る。地図上では c。1858 年に締結された **日米修好通商条約**により、**神奈川** (のちに横浜に変更) ・ **新潟・長崎・兵庫・箱館**の開港が決まった。

以上より、ウ -a、エ -c の組み合わせとなる①が正解である。

問 5 5 正解は⑥

難易度 ★★★★★☆

解説

I ^{ふくいん}復員は **太平洋戦争終結後**に行われたので、**1945 年以降**であると判断できる。

II ^{まんもうかいたくせいしょうねんぎゆうぐん}満蒙開拓青少年義勇軍は **1937 年**に発足する。年号を知らない人も多いと思うが、**満州事変以後かつ大戦終了前**、という見切りはつけられる。

III ロシア軍艦・宣戦布告後とあり、**日本とロシアが戦争していた時期**を考えると、**日露戦争の時期**しか該当しない。ゆえに **1904～05 年**のうちに出されたものと考えられる。太平洋戦争末期だと判断した人もいるかもしれないが、当時はロシアではなくてソ連であることに加え、写真上部に 2 月 11 日と書かれていることから、ソ連の対日参戦の日付である 8 月 8 日から終戦までの期間には該当しないということに留意。

以上より、古い順から III (日露戦争期) → II (満州事変以後・第二次世界大戦終戦前) → I (戦後) となる⑥が正解である。

問 6 6 正解は④

難易度 ★★☆☆☆

解説

- ① 正 古代律令国家では、駅制が敷かれ、^{うまや}駅家が置かれた。
- ② 正 中世には、貨幣経済が発達して^{ばしやく}馬借や^{しゃしやく}車借といった運送業者が登場した。
- ③ 正 江戸時代には、^{ひきやく}飛脚が活躍した。幕府公用のものを^{つぎひきやく}継飛脚、大名の公用のものを大名飛脚、民間営業のものを町飛脚という。
- ④ 誤 日本で最初の鉄道は 1872 年に新橋・横浜間に敷設された。

以上より、正解は④である。

(积迦戸 雅史, 瀧 拓也)

2017 年度 センター試験 本試験 日本史 B

第 2 問 古代の思想・信仰と政治・社会

出題範囲	古代の政治・文化史
難易度	★★★☆☆
所要時間	8 分
傾向と対策	本問は、仏教に関する本文から古代の歴史理解について問う問題であった。センター試験における標準的な難易度であり、出題形式の変化もなく、古代における基本知識が幅広くおさえられているかが問われた。問 3、問 6 のように、正誤判断において何世紀の出来事かを問う問題が近年では頻出であるので、基本的な歴史理解に加え歴史を総合的に把握する力もつけていくと、他の受験生に差をつけることができる。

A

問 1 7 正解は④

難易度 ★★☆☆☆

解説

ア 蘇我が入る。飛鳥寺（法興寺）は蘇我馬子（?-626）によって建立された蘇我氏の氏寺である。平城京遷都後は、元興寺と称した。大伴氏は、古代の豪族でありヤマト政権の軍事を担う大連であった。

イ 郡司が入る。郡司は、国造など伝統的な地方の豪族が任じられる終身官であった。国司は中央の貴族が任じられ、国府を拠点に国内を統治した。

以上より、ア - 蘇我、イ - 郡司の組み合わせとなる④が正解である。

問 2 8 正解は②

難易度 ★★☆☆☆

解説

① 誤 大官大寺は 7 世紀後半の白鳳文化の時代に建立されている。西大寺は南都七大寺の一つであり、8 世紀後半に称徳天皇（位 764-770）によって建立された寺院であるので 7 世紀後半の諸政策を問うこの問題の答えとしては誤りである。

② 正 670 年、最初の全国的戸籍である庚午年籍が天智天皇（位 668-671）によって作成された。

③ 誤 冠位十二階が制定されたのは 603 年である。推古朝において、厩戸王（聖徳太子、574-622）と蘇我馬子（?-626）らによって定められた。

④ 誤 『旧辞』は 6 世紀中頃にまとめられた歴史書である。『帝紀』とともに、『古事記』・『日本書紀』のもとになった。

以上より、正解は②である。

問 3 9 正解は③

難易度 ★★★☆☆

解説

- a 誤 ヤマト政権は進んだ技術をもつ渡来人を品部しなべに組織した。陵戸りょうこは、官有の賤民せんみん（最下層の身分）である。五色の賤ごしき せんの1つで、ほかには官戸かんこ・公奴婢くぬひ・家人けにん・私奴婢しぬひがあるので、しっかりと覚えておこう。
- b 正 6世紀、百済くだらから渡来した五経博士ごきょうはかせにより儒教が伝えられたほか、曆博士れきはかせ・易博士えきはかせなども渡来し、曆法などが伝えられた。
- c 正 7世紀、朝鮮半島における勢力争いの中で百済から亡命してきた貴族の影響などから、漢詩文が作られるようになった。
- d 誤 8世紀には、遣唐使しらぎは新羅との関係悪化に伴い朝鮮半島沿岸を通る北路を利用するのをやめ、東シナ海を通過する南路の航路をとったが、東シナ海を横断するため、海上での遭難も多かった。また、渤海ぼっかいを経由する航路も利用された。

以上より、b・cの組み合わせとなる③が正解である。

B

問 4 10 正解は⑤

難易度 ★★★★★

解説

- I 785年、長岡京造都を主導していた藤原種継ふじわらたねつぐ（737-785）が暗殺され、首謀者とされた皇太子の早良親王さわら しんのう（750-785）は淡路に配流はいりゅうとなった。
- II 842年、承和じょうわの変を企てたとして、橘逸勢たちばなのはやなり（?-842）や伴健岑ともこのわみねが流罪になった。
- III 740年、藤原広嗣ふじわらのひろつぐ（?-740）は玄昉げんぼう・吉備真備きびのみまきびの排斥を求め九州で反乱を起こした。

以上より、古い順からIII（740年）→I（785年）→II（842年）となる⑤が正解である。

問 5 11 正解は③

難易度 ★★★☆☆

解説

- ① 正 仏法が衰えて乱世を迎えるという末法思想が広がった11世紀半ば、藤原頼通よりみち（992-1074）により平等院鳳凰堂びょうどう いんほうおうどうが建てられた。
- ② 正 空也くうや（903-972）は、民間にも阿弥陀信仰あみだしんこうを広め、市聖いちのひじりと呼ばれた。
- ③ 誤 定朝じょうちょう（?-1057）は寄木造よきぞうの技法を考案して、浄土信仰の普及に伴う仏像の大量需要にこたえた。一木造いちぼくづくり

は、密教が盛んであった平安時代前半に用いられた手法である。

- ④ 正 院政期には、^{ふきじおおどう}富貴寺大堂のほか、^{ちゅうそんじこんじきどう}中尊寺金色堂や^{しらみずあみだどう}白水阿弥陀堂など、阿弥陀堂が地方でも建立された。

以上より、正解は③である。

問 6 12 正解は②

難易度 ★★★★★☆

解説

X 正 9世紀前半（823年）に、大宰府において政府の直営田である^{くえいでん}公営田が設置された。中央・地方の財政改善の政策の一種である。879年には畿内に官田を設け、そこから得られる利益が中央の各官庁の財源となった。

Y 誤 902年に醍醐天皇（位 897-930）によって延喜の荘園整理令が出されている。^{きろくしょうえんけんけいしよ}記録荘園券契所が設置されたのは1069年の後三条天皇（位 1068-72）期である。

以上より、X-正、Y-誤の組み合わせとなる②が正解である。

（久米 光仁，下谷 佳楠）

2017 年度 センター試験 本試験 日本史 B

第 3 問 中世武家政権の政治

出題範囲	中世の政治・社会・文化史
難易度	★★★☆☆
所要時間	8 分
傾向と対策	2017 年度の第 3 問は、中世の幕府政治の変遷 ^{へんせん} ・商工業の発達・幕府と禅宗の関わりなどの観点から出題された。基本的な知識を問う問題が多く出されたものの、選択肢文を注意深く読むことを要求する問題もあった。流し読みすることなく冷静に判断し、確実に点を取りたい大問である。

A

問 1 13 正解は②

難易度 ★★★★★☆

解説

- X 正 鎌倉幕府のおもな経済基盤としては、関東御領や関東知行国（関東御分国^{こぶんこく}）が挙げられる。そのうち関東御領は、平家没官領^{へいけ もっかんりょう}や承久の乱後、上皇に味方した勢力から没収した荘園などにより構成されていた。また、関東知行国（関東御分国）は、将軍に与えられた知行国のことである。
- Y 誤 守護の職務として、天皇や院の御所を警備する京都大番役^{おおばんやく}を諸国の御家人に催促する大番催促がある。鎌倉番役は、鎌倉にある将軍の御所の警備を行う役職である。
- 以上より、X- 正、Y- 誤の組み合わせとなる②が正解である。

問 2 14 正解は③

難易度 ★★☆☆☆

解説

- a 誤 史料の 1 行目より、京方、つまり後鳥羽上皇（院政 1198-1221）側については次郎ではなく太郎であることがわかる。
- b 正 史料の 2 行目より、次郎は御方、つまり鎌倉幕府側について忠義を尽くしたことが読み取れる。
- c 正 史料の 2・3 行目、「重俊の地頭職相違なく安堵せしむべき」の記述により、重俊は従来通り地頭職を安堵されたことがわかる。
- d 誤 史料には、太郎は後鳥羽上皇側についていたものの、次郎が鎌倉幕府に味方したため地頭職が安堵されたと書かれている。
- 以上より、b・c の組み合わせとなる③が正解である。

問 3 15 正解は①

難易度 ★★★★★☆

解説

- I 鎌倉時代 (1325 年) に 14 代執権北条高時 (1303-33) のもとで、建長寺の再建費の獲得を目的とした貿易船として、元に建長寺船が派遣された。
- II 鎌倉幕府滅亡後の建武の新政期、後醍醐天皇 (位 1318-39) のもとで所領問題などの訴訟を裁決する雑訴決断所が設置された。
- III 北畠親房 (1293-1354) による『神皇正統記』は、南北朝の内乱の中で 1339 年に成立した。後醍醐天皇に継いで即位した後村上天皇 (位 1339-68) までの皇位継承の経緯について書かれている。

以上より、古い順から I (鎌倉時代) → II (建武の新政期) → III (南北朝) となる①が正解である。

B

問 4 16 正解は④

難易度 ★★☆☆☆

解説

- A 管領が入る。有力守護であった細川・畠山・斯波氏は三管領と呼ばれ、交代で将軍を補佐した。
- I 奉公衆が入る。奉公衆は、平時は在京して将軍の護衛や諸国に散在する将軍の直轄領である御料所の管理など、守護の動向をけん制する役割を果たした。評定衆は鎌倉幕府の 3 代執権北条泰時 (1183-1242) により設置され、重要政務や裁判に携わった役職である。

以上より、A - 管領、I - 奉公衆の組み合わせとなる④が正解である。

問 5 17 正解は③

難易度 ★☆☆☆☆

解説

- X b 商工業者の同業組合である座は、本所に座役を納める代わりに関銭免除・販売独占権などの特権を与えられた。室町時代の代表的な座の中には、石清水八幡宮を本所とする荏胡麻油の座である大山崎油座がある。
- Y c 室町時代には、日明貿易によりもたらされた良質な明銭とともに粗悪な私鑄銭なども流通していたため、これらの粗悪な貨幣を避け良質な銭を選ぶ撰銭が行われた。分一銭は徳政令の際に、債権の保護もしくは債務の破棄を認める見返りとして、幕府が債権者もしくは債務者に納入させた手数料のことである。

以上より、X- b、Y- c の組み合わせとなる③が正解である。

問 6 18 正解は①

難易度 ★★★★★☆

解説

- ① 正 朝鮮は倭寇の禁止を日本に求め、3代将軍足利義満（任 1368-94）もこれに応じたので、両国の間に国交が開かれ、日朝貿易が開始された。朝鮮側は対馬の宗氏を通して通交についての制度を定め、貿易を統制した。
- ② 誤 4代将軍足利義持（任 1394-1423）が朝貢形式に不満をもち中断したのは明との朝貢貿易である。日明貿易は6代将軍足利義教（任 1429-41）により再開された。
- ③ 誤 日明貿易における日本のおもな輸出品は刀剣などの武器類、屏風などの工芸品、銅・硫黄などの鉱産物で、おもな輸入品は銅銭、陶磁器、書籍などである。
- ④ 誤 藤原隆信（1142-1205）は鎌倉時代初期の個人の肖像を描く写実的な似絵の名手である。室町時代に活躍した水墨画の名手は、如拙のほかに明兆（1352-1431）・雪舟（1420-1502?）などが挙げられる。よってこの記述は誤り。

以上より、正解は①である。

（浦地 智暉，下谷 佳楠）

2017 年度 センター試験 本試験 日本史 B

第 4 問 近松門左衛門と上方の文化・18 世紀後半の幕府の動揺

出題範囲	近世の政治・社会・文化史
難易度	★★★☆☆
所要時間	8 分
傾向と対策	2017 年度の第 4 問は、江戸時代の知識を文化・政治・社会の広い分野にわたって問う問題であった。基本的な知識を要求する問題がほとんどであったが、一部、年代のやや細かい知識が必要な問題もみられた。予想外に細かい知識を問われたとしても、教科書の記述が頭に入っていれば正解を導き出せる場合が多いため、普段から教科書をよく読み込んでおくことが大切である。

A

問 1 19 正解は③

難易度 ★★☆☆☆

解説

ア 近松門左衛門が入る。近松門左衛門 (1653-1724) は元禄時代に活躍した人形浄瑠璃・歌舞伎の作者であり、代表作には『^{そねざきしんじゅう}曾根崎心中』などの世話物 (当時の世相に題材をとった物語) や『^{こくせんやかつせん}国姓爺合戦』などの時代物 (歴史上の出来事に題材をとった物語) がある。井原西鶴 (1642-93) も元禄時代に活躍した作家であり、『^{こうしよくいちだいのとこ}好色一代男』『^{にっぽんえいたいくら}日本永代蔵』などの浮世草子で有名である。

イ 明が入る。『^{ていしりゅう}国姓爺合戦』は、明の遺臣鄭芝竜を父に、日本人を母にもつ^{ていせいこう}鄭成功が中国に渡り、滅亡した明の再興を目指す物語であり、史実をもとにした時代物である。もう 1 つの選択肢である清が滅亡するのは 1912 年のことであり、近松が生きた元禄時代にはまだ滅亡していないことから、正解は明だと判断できる。

以上より、ア - 近松門左衛門、イ - 明の組み合わせとなる③が正解である。

問 2 20 正解は④

難易度 ★★★☆☆

解説

① 誤 ^{すえつぐへいぞう}末次平蔵 (?-1630) は江戸初期の長崎の豪商・朱印船貿易家である。江戸初期に富士川・鴨川の整備や高瀬川の開削を行ったのは、京都の豪商の^{すみのくらしらうい}角倉了以 (1554-1614) である。

② 誤 ^{とくみといや}十組問屋は元禄期に江戸で成立した荷受問屋の仲間である。これと同時期に大阪で成立した荷積問屋は^{にじゅうしきみといや}二十四組問屋である。また、**これらの問屋仲間が株仲間として幕府に公認されるのは享保期以降のことである。**

③ 誤 ^{しょうゆ}醤油は上方でつくられ始めたが、江戸時代後期には関東の^{のだ ちょうし}野田・銚子でも盛んに生産されるようになり、

江戸の市場の多くを占めるようになった。

- ④ 正 北前船は、蝦夷地や日本海側の物資を西廻り航路を使って大坂などの上方に運んだ船である。

以上より、正解は④である。

問 3 21 正解は③

難易度 ★★★☆☆

解説

- X b 作品は『見返り美人図』であり、作者は元禄期に浮世絵を確立した菱川師宣(ひしかわもろのぶ)(?-1694)である。住吉如慶(すみよしじょけい)(1599-1670)は江戸時代の大和絵の一派、住吉派の祖である。住吉派は代々幕府の御用絵師を務めた。
- Y c 作品は『八橋時絵螺鈿硯箱(やつはしまきえらでんすずりばこ硯箱)』であり、作者は尾形光琳(おがたこうりん)(1658-1716)である。光琳はほかにも『紅白梅図屏風(かきつばた燕子花図屏風)』などの名作を遺しており、光琳が大成した大和絵を基本とする装飾的な画風は琳派(りんぱ)と呼ばれる。野々村仁清(のむらにんせい)は17世紀後半に活躍した陶工で、京焼(きょうやき)を大成した。代表作には『色絵藤花文茶壺(いろえとうかもんちゃつぽ)』などがある。

以上より、X-b、Y-cの組み合わせとなる③が正解である。

B

問 4 22 正解は①

難易度 ★★☆☆☆

解説

- ウ 松平定信(まつだいらさだのぶ)が入る。松平定信(1758-1829)は1787年に老中に就任し、1793年に失脚するまで農村再興、都市秩序安定、幕府権威回復などを目的として諸政策を実行した。これを寛政の改革(かんせい)という。水野忠邦(みづのただくに)(1794-1851)は、1841年から1843年にかけて天保の改革を行った老中である。
- エ 尊号一件(じゆんごういっけん)が入る。尊号一件は1789年、光格天皇(こうかく)(位1779-1817)が実父の閑院宮典仁親王(かんいんのみやすけひと)(1733-94)に「太上天皇(たいじょう)の尊号(そんごう)を贈りたいと幕府に承認を求めたが、松平定信の反対で実現しなかった事件である。定信は、太上天皇は本来天皇退位者に贈られる称号であるのに、天皇に即位したことのない典仁親王に贈ることはできないと主張して強硬に反対し、光格天皇側に立った武家伝奏(ぶけてんそう)らの公家を処罰した。しかし、同時期に実父の一橋治済(はるさだ)に対して「大御所(おほみよ)の尊号(そんごう)を贈ろうとしていた將軍徳川家斉(とくがわいえなり)(任1787-1837)は定信の対応を快く思わず、これを一因として定信は失脚した。
- 紫衣事件(しえいじけん)は、後水尾天皇(ごみずのお) (位1611-29)が幕府の許可なく与えた紫衣(高僧に与えられる法衣)を幕府が取り上げた事件であり、これをきっかけに1629年、後水尾天皇は明正天皇(めいしょう)(位1629-43)に譲位した。
- 以上より、ウ - 松平定信、エ - 尊号一件(事件)の組み合わせとなる①が正解である。

問 5 23 正解は①

難易度 ★★☆☆☆

解説

- X 正 史料中の「組のもの召し連れ、今日より相廻り」という部分から、先手組は江戸市中の見回りを指示されたことがわかる。
- Y 正 史料中の「暴れ候ものども召し捕え、町奉行へ相渡さるべく候」という部分から、逮捕した者を町奉行に引き渡すよう命じていることがわかる。
- 以上より、X- 正、Y- 正の組み合わせとなる①が正解である。

問 6 24 正解は②

難易度 ★★★★★

解説

- I 宝暦事件が起こったのは 1758 年。神道家の竹内式部たけのうちのきぶ (1712-67) が京都で復古派の公家に尊王論を説き、朝廷統制の責任を負う摂家によって追放された。
- II 藤田東湖とうこ (1806-55) ・会沢安あいざわやすし (1782-1863) らが尊王攘夷論を説いたのは 19 世紀前半である。水戸藩の『大日本史』だいほんし 編纂事業を中心におこった水戸学みとがくは、19 世紀前半になると藩主徳川斉昭なりあき (1800-60) を中心に尊王攘夷論を説き、藤田東湖・会沢安らの学者が活躍した。
- III 明和事件は 1767 年に起こった。兵学者の山県大武やまがただい (1725-67) は江戸で幕政を批判し尊王斥覇せきばを説いたため、謀反の疑いで死刑に処せられた。代表作に『柳子新論』りゅうししんろんがある。なお、宝暦事件で追放されていた竹内式部は、この明和事件に連座して八丈島に流罪となった。

I と III の年代はやや細かい知識であるが、教科書の記述などから 2 つの前後関係を覚えておき、II が幕末に近い出来事であることを頭に入れておけば、正解は導き出せるはずである。

以上より、古い順から I (1758 年) → III (1767 年) → II (19 世紀前半) であり、正解は②である。

(金子 智実, 下谷 佳楠)

2017 年度 センター試験 本試験 日本史 B

第 5 問 幕末から明治にかけての大阪

出題範囲	近代の政治・社会史
難易度	★★☆☆☆
所要時間	6分
傾向と対策	2017年度の第5問は、幕末から明治初期にかけての政治・社会を中心に出题された。この時期は江戸幕府から明治政府へと政治体制が移行したことに伴い、政治や社会を取り巻く状況が大きく変化する時期である。受験生が苦手とする範囲であるものの、複雑な判断を要求する出題は少なく、基本的な知識で解ける問題がほとんどであったといえよう。

問 1 **25** 正解は④

難易度 ★☆☆☆☆

解説

- ア 徳川家茂^{いえもち}（任 1858-66）が入る。本文の **ア** の人物は 15 代将軍徳川慶喜^{よしのぶ}（在 1866-67）の前の将軍であることがわかり、14 代将軍である徳川家茂（任 1858-66）が入ると判断できる。徳川家定^{いえさだ}（任 1853-58）は 13 代将軍。生来病弱で子息がいなかったため、彼の死後将軍継嗣問題^{けいし}が発生した。
- イ 明治天皇（位 1867-1912）が入る。新政府の成立直後に即位したのは明治天皇である。孝明天皇^{こうめい}（位 1846-66）は幕末期の天皇であり、公武合体^{こうぶがたい}の立場をとった。さらに妹和宮^{かずのみや}（1846-77）の降嫁^{こうけ}を認め、尊王攘夷派を抑制したが、幕府による第 2 次長州征討の最中に急死した。

以上より、ア - 徳川家茂、イ - 明治天皇の組み合わせとなる④が正解である。

問 2 **26** 正解は①

難易度 ★☆☆☆☆

解説

- X 正 幕末・維新时期、国学^{くわく}の尊王思想は農村にも広まり、全国各地で世直し^{よ直し}の実行を求める世直し一揆^{いげん}が起こった。特に長州征討の最中は、米価の高騰もあって大坂や江戸を中心に打ちこわし^{うちこわし}が頻発した。
- Y 正 開国後の物価上昇や政治的混乱などで社会不安が広まる中、1867年に東海・畿内・四国地方で「ええじゃないか」の集団乱舞^{らんぶ}が発生した。

以上より、X- 正、Y- 正の組み合わせとなる①が正解である。

問 3 **27** 正解は③

難易度 ★★★☆☆

解説

- ① 誤 ^{おおく ぼとしみち}大久保利通 (1830-78) は^{さま}薩摩藩の人物である。幕末期に長州藩の中で実権を握った人物は、^{き ど たかよし}木戸孝允 (1833-77) ・^{たかすぎしんさく}高杉晋作 (1839-67) らである。
- ② 誤 大久保利通は^{いわた}岩倉使節団に同行した。その間の留守政府の中心となった人物は^{さいごうたかもり}西郷隆盛 (1827-77) ・^{いた}板垣退助 (1837-1919) らである。
- ③ 正 大久保利通は、殖産興業や地方行政に当たったほか、全国の警察組織の統轄する^{ないしやう}内務省を 1873 年に新設し、自身は初代内務卿に就任した。
- ④ 誤 大阪会議は 1875 年 1 月から 2 月にかけて^{おおく}大久保利通 ・ ^{き ど たかよし}木戸孝允 ・ ^{いた}板垣退助らによって開かれた会議である。ここでは、時間をかけて立憲制に移行するべきと決められ、同年 4 月に政府は^{ぜんじりっけんせいたいじゅりつ}漸次立憲政体樹立の^{みことり}詔を出した。また、立法諮問機関にあたる^{げんろういん}元老院、最高裁判所にあたる^{たいしんいん}大審院、^{けんれい}府知事 ・ 県令からなる^{ちほう}地方官会議を設置した。

以上より、正解は③である。

問 4 28 正解は①

難易度 ★★☆☆☆

解説

- ① 誤 ^{みいけ}三池炭鉱の払い下げをうけたのは、住友ではなく^{さんせい}三井である。戦後に三井鉱山三池炭鉱で大量解雇に反対する激しい争議 (^{さんせい}三池争議) が起きたことを覚えておけば、ヒントになるだろう。
- ② 正 1881 年、開拓使長官の^{きよたか}黒田清隆 (1840-1900) が、政商^{ごだいともあつ}五代友厚 (1835-85) らが関係する関西貿易社に、不当に安い価格で開拓使官有物を払い下げようとして問題化した^{かいたくし かんゆうぶつはらいさ}開拓使官有物 払下げ事件が起こった。
- ③ 正 ^{いわさきや たろう}岩崎弥太郎 (1834-85) は海運業を中心とする^{みつびし}三菱をおこし、のちに三菱会社として諸部門に進出して三菱財閥の基礎を確立した。
- ④ 正 ^{あしお}足尾銅山は 1871 年、民間に払い下げられたのちに、1877 年に^{ふるかわいち べ え}古川市兵衛 (1832-1903) によって買収された。

以上より、正解は①である。

(浦地 智暉, 下谷 佳楠)

2017 年度 センター試験 本試験 日本史 B

第6問 公園から見る日本の近現代

出題範囲	近現代の政治史
難易度	★★★★☆
所要時間	12分
傾向と対策	2017年度の第6問は、歴史的出来事に関わる公園をテーマにした本文に沿って、政治・社会に関係する出来事が問われた。参政権の拡大に伴い、政府にとって世論が無視できないものとなっていく時代において、政治と社会を関連させて問う問題は頻出のテーマであるといえよう。政府の方針が社会にどのような影響を与えたのか、逆に社会の動きが政府の方針にどのような影響を与えたのか、双方向的に考えることも知識の整理に役立つだろう。

A

問1 29 正解は②

難易度 ★★★★★

解説

ア 血のメーデー事件（メーデー事件）が入る。血のメーデー事件は、1952年に起きた独立回復後初のメーデーで、デモ隊と警察官とが皇居前広場で衝突し、流血の大乱闘になった事件である。三・一五事件は、1928年に田中義一内閣（1927-29）によって共産党員が一斉に検挙された事件である。

イ 憲法が入る。1909年の20年前にあたる1889年に大日本帝国憲法が公布された。普通選挙法は、1925年に加藤高明内閣（1924-26）が改正した衆議院議員選挙法の通称で、納税資格制限を撤廃し、満25歳以上の男性に選挙権、満30歳以上の男性に被選挙権を認めた。

以上より、ア - 血のメーデー事件（メーデー事件）、イ - 憲法の組み合わせとなる②が正解である。

問2 30 正解は①

難易度 ★★☆☆☆

解説

I 満州事変が起こったのは1931年であるので、写真に載っている二周年記念大会は1933年に開催されたものだとわかる。

II サイパン島がアメリカ軍に占領されたのは1944年7月のことである。よってサイパン奪回国民有志大会は1944年7月から終戦までの間に開催されたと考えられる。

III 社会党が左右に分裂していることから、戦後の1951年10月から1955年10月までの出来事であるとわかる。1951年、社会党は、サンフランシスコ平和条約賛成・日米安全保障条約反対の右派と両条約反対の左

派に分裂した。

以上より、古い順からⅠ(1930年代)→Ⅱ(1940年代)→Ⅲ(1950年代)となる①が正解である。

問3 31 正解は④

難易度 ★☆☆☆☆

解説

X b 統監府は第二次日韓協約(乙巳条約)にもとづいて設置され、韓国政府の外交権を接收し、内政にも関与した。初代統監に就任した伊藤博文(1841-1909)は、1909年ハルビン駅にて韓国の義兵運動・独立運動家の安重根(1879-1910)に暗殺された。

Y d 前蔵相井上準之助(1869-1932)や三井合名会社社理事長の団琢磨(1858-1932)らが暗殺された事件を血盟団事件という。血盟団とは井上日召(1886-1967)を中心とする右翼団体である。虎の門事件は1923年、無政府主義者の一青年難波大助が、摂政の裕仁親王(のちの昭和天皇)(1901-89)を虎の門付近で狙撃した事件である。

以上より、X-b、Y-dの組み合わせとなる④が正解である。

B

問4 32 正解は③

難易度 ★★★☆☆

解説

X b 1887年、三菱に払い下げられた造船所は長崎造船所である。長崎造船所は、旧幕府の長崎製鉄所を引き継いだ造船所である。

Y c 八幡製鉄所は官営製鉄所として1901年に操業を開始した。清の大冶鉄山の鉄鉱石と、筑豊炭田の石炭、のちに満州の撫順炭田の石炭を使用した。

以上より、X-b、Y-cの組み合わせとなる③が正解である。

問5 33 正解は③

難易度 ★★★☆☆

解説

① 誤 民撰議員設立建白書が掲載されたのは、イギリス人ブラックが創刊した『日新真事誌』である。『中央公論』は、大正デモクラシーを論じる場の中心ともなった総合雑誌である。

② 誤 新聞紙条例は自由民権運動の高揚に対処するため、政府を攻撃する新聞・雑誌の弾圧を目的として1875年に公布された。『横浜毎日新聞』は、1870年に創刊された日本初の日刊紙である。

③ 正 北村透谷(1868-94)は、『文学界』を創刊し、感情や個性の躍動を重んじるロマン主義を説いた。

④ 誤 大衆娯楽雑誌である『キング』は、1925年に創刊され、多くの読者を獲得した。選択肢の内容は正し

いが、明治期ではなく大正・昭和期の出版や文化である。

以上より、正解は③である。

問 6 **34** 正解は②

難易度 ★☆☆☆☆

解説

X 正 表より、1ha 当たり米生産量の増加率と田耕地面積の増加率を比べると、前者の増加率の方が高いのは明らかである。

Y 誤 農地改革によって生まれた多数の自作農を保護するため、農業協同組合法が1947年に制定された。これにもとづき、農業協同組合が農業経営を支援する組織として各地に設置された。よって、農業協同組合は1901年以降の米生産量の上昇には関与していない。

以上より、X- 正、Y- 誤の組み合わせとなる②が正解である。

C

問 7 **35** 正解は③

難易度 ★★☆☆☆

解説

① 誤 『国体の本義』は、日中戦争開始直前に文部省により発行され、全国の官庁・学校に配られ、戦時下の国民思想教化の根本テキストとして普及した。

② 誤 1925年に制定された治安維持法は、国体の変革、私有財産制度の否認を目的とする結社を禁じた法であり、共産主義否認を目的とする結社を禁じた法ではない。

③ 正 1928年に行なわれた普通選挙制による最初の総選挙で、無産政党勢力が8名の当選者を出した。また、非合法の日本共産党が公然と活動を始めたことに衝撃を受けた田中義一内閣(1927-29)は、緊急勅令によって治安維持法を改正し、最高刑を死刑とし、また結社の協力者も処罰可能にした。

④ 誤 日本政府は、国体護持のみを条件としてポツダム宣言を受諾したが、ポツダム宣言には国体護持を保証する条件は含まれていなかった。

以上より、正解は③である。

問 8 **36** 正解は⑥

難易度 ★★☆☆☆

解説

I 1918年、寺内正毅内閣(1916-18)は、軍隊を出動させて米騒動を鎮圧した。この騒動の責任をとって、同内閣は総辞職した。

II 1910年、第2次桂太郎内閣(1908-11)の時期に、明治天皇暗殺を企てたとして社会主義者幸徳秋水

(1871-1911) から 26 人が起訴された。翌年全員が有罪となり、そのうち 12 人が死刑となった（^{たいぎやく}大逆事件）。

III 1900 年、第 2 次^{やまがたありとも}山形有朋内閣 (1898-1900) のもとで、**陸軍・海軍大臣を現役の大將・中將から任用する軍部大臣現役武官制**^{ぶ だいじんげんえき ぶ かんせい}が定められた。

以上より、古い順から III (1900 年：第 2 次山形有朋内閣期) → II (1910 年：第 2 次桂太郎内閣期) → I (1918 年：寺内正毅内閣期) の配列となる⑥が正解である。

(浦地 智暉, 下谷 佳楠)